

平成32年 第71回全国植樹祭の開催県内定について

林業課 全国植樹祭準備S

1. これまでの経過

- 開催招致の知事表明（平成28年2月県議会 知事施政方針）
- (公社)島根県緑化推進委員会会長と島根県知事連名による開催申出書を（公社)国土緑化推進機構（以下「機構」という）に提出（平成28年5月31日）
- 機構理事会において、平成32年「第71回全国植樹祭」開催県に島根県が内定（平成28年8月10日）

2. 全国植樹祭開催までの全体スケジュール概要（想定）

	平成28年度 (開催4年前)	平成29年度 (開催3年前)	平成30年度 (開催2年前)	平成31年度 (開催1年前)	平成32年度 (春季)
計画等	基本構想 ◆開催理念 ◆開催候補地 ◆開催規模 等	基本計画 ◆大会テーマ・シンボルマーク選定 ◆植樹計画 ◆大会ポスター原画選定 ◆広報計画 ◆式典構成・演出計画 ◆宿泊輸送計画 ◆会場整備計画 ◆大会運営計画 等		実施計画 運営マニュアル	第71回 全国植樹祭 開催
国土緑化 推進機構	◎開催県内定(8月)	◎開催県決定(8月) ◎開催会場決定(秋頃)	◎基本計画承認(2月)	◎開催日決定(8月) ◎実施計画承認(2月)	
実施組織	準備委員会	実行委員会			実行本部

3. 平成28年度 of 取組み内容

- 機構等との連絡調整、先催県準備状況等調査
- 準備委員会設置(11月28日)・開催
- 基本構想案の検討（年度末を目途に取りまとめ）

4. 平成29年度 of 主な取組み予定

- 機構等との連絡調整、先催県準備状況等調査
- 実行委員会の設置(5月頃～)・開催
- 基本構想の決定、基本計画の検討
- 機構理事会において開催県の正式決定(8月)
- 機構と協議のうえ、開催会場を決定(秋頃)
- 大会テーマ等の公募

「全国植樹祭」の概要

1. 全国植樹祭とは

(1) 目的等

- 全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に天皇皇后両陛下ご臨席のもとで行われる国土緑化運動の中心的行事。
- 昭和25年4月に山梨県で第1回大会が開催されて以降、各都道府県の持ち回りにより毎年実施。(平成6年からは2巡目)

(2) 主催

公益社団法人 国土緑化推進機構、都道府県

(3) 主な参加者

- ① 機構関係者：会長(衆議院議長)、農林水産大臣、文部科学大臣、機構招待者
- ② 県関係者：知事、県議会議員、県選出国會議員、県議会議員、県招待者

(4) 行事概要

- ① 式典行事：両陛下によるお手植え・お手播き、各種表彰、大会宣言 等
- ② 植樹行事：参加者による記念植樹
(関連行事：プレ植樹祭、各種シンポジウム、全国林業後継者大会 等)

(5) 近年の開催状況と予定

開催年	月日	開催県		大会テーマ
平成21年	6月7日	第60回	福井県(福井市)	未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと
平成22年	5月23日	第61回	神奈川県(秦野市)	森が育む あなたの心 森を育む あなたの手
平成23年	5月22日	第62回	和歌山県(田辺市)	緑の神話 今 そして未来へ 紀州木の国から
平成24年	5月27日	第63回	山口県(山口市)	育む いのち 彩りの森・光る海・碧い空・燦めきの発信
平成25年	5月26日	第64回	鳥取県(南都町)	感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ
平成26年	6月1日	第65回	新潟県(長岡市)	未来へつなぐ森の力 ～復興から創造へ～
平成27年	5月17日	第66回	石川県(小松市)	木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森
平成28年	6月5日	第67回	長野県(長野市)	ひと ゆめ みどり 信濃から 未来へつなぐ 森づくり
平成29年	5月28日	第68回	富山県(魚津市)	かがやいて 水・空・緑のハーモニー
平成30年	――	第69回	福島県(南相馬市)	育てよう 希望の森を いのちの森を (H28年6月決定)
平成31年	――	第70回	愛知県[決定]	――
平成32年	――	第71回	島根県[内定]	――

()内は 式典行事 開催地

2. 過去の島根県での開催状況

- 昭和46年4月に第22回全国植樹祭を大田市三瓶山北の原で実施
- 参加者(運営関係者を含む) 約1万5千人
- お手植え及び記念植樹：クロマツ

※お手播き行事は、広島県三次市(広島県林業試験場)で実施

昭和46年4月18日(日) 島根県で開催された「第22回全国植樹祭」
(大会テーマ：多目的森林開発と環境緑化)



大会会場：三瓶山北の原



参加者による記念植樹
(約6haの植栽地に、クロマツの苗木1万9千本を植栽)



両陛下によるお手植え(クロマツ)